

第 32 回日本分子腫瘍マーカー研究会世話人会議事録

(平成 24 年 9 月 18 日 於さっぽろ芸文館)

1. 第 31 回世話人会決定事項確認

- 1) 第 32 回当番世話人の件
伊東文生 先生（聖マリアンナ医科大学 消化器・肝臓内科）を承認した。
- 2) 第 33 回当番世話人の件
菅野康吉 先生（栃木県立がんセンター研究所）を承認した。
- 3) 世話人退任の件
藤山重俊 先生 石田 功 先生 廣橋説雄 先生大川 清 先生 を承認した。
- 4) ホームページにある世話人名簿と各所属先施設のホームページとリンクを張り、研究会の活性化をはかることが承認された。
- 5) 研究会発表において、奨励賞とは別にテーマ毎に公募演題を募る案が承認された。
- 6) 幹事の増員が提案され、新幹事の推薦が幹事会に一任された。

2. 平成 23 年度庶務報告

1)	幹事	5 名	
	監事	2 名	
	世話人	45 名	
	名誉会員	21 名	
	特別会員	5 名	
	一般会員	152 名	
	賛助会員	14 社	
	総会員数	244 名	(平成 24 年 8 月 27 日現在)

- 2) 世話人幹事会開催 平成 24 年 6 月 19 日

以上を承認した。

3. 会計報告

- 1) 平成 23 年度収支決算報告を承認した。
- 2) 平成 24 年度予算案を承認した。

4. 第 31 回日本分子腫瘍マーカー研究会 補助金に関する会計報告の件

事務局より報告があり承認された。

5. 次期（第 33 回）当番世話人の件

菅野康吉 先生（栃木県立がんセンター研究所）より平成 25 年 10 月 2 日（水）に横浜（予定）にて開催されることが報告された。

6. 次々期（第 34 回）当番世話人推薦の件

門田卓士 先生（NTT 西日本大阪病院 外科）が承認された。

7. 新幹事推薦の件

伊東文生 先生（聖マリアンナ医科大学）
島田英昭 先生（東邦大学）
山田哲司 先生（国立がん研究センター研究所）

以上が承認された。

8. 新世話人推薦の件

加藤 直也 先生（東京大学医科学研究所 疾患制御ゲノム医学ユニット）
後藤 典子 先生（東京大学医科学研究所 先端医療研究センター）
鈴木 拓 先生（札幌医科大学 分子生物学）
深澤 一雄 先生（独協医科大学 産婦人科）
山下 継史 先生（北里大学医学部 外科）

以上が承認された。

9. 世話人退任の件

定年制：矢澤 伸 先生
その他：稲葉憲之 先生 日野田裕治 先生

以上が承認された。

10. 特別会員推薦の件

日野田裕治 先生

以上が承認された。

11. 第32回研究会奨励賞選考委員の報告

委員長：伊東文生 先生
副委員長：松浦成昭 先生
委員：中面哲也 先生
三善英知 先生
門田卓士 先生

12. 新規腫瘍マーカーの許認可に関する委員会

『次世代バイオマーカーの研究開発と臨床応用に関するアンケート調査結果報告』について第32回研究会で発表し、また会員に郵送にて結果をフィードバックすることが承認された。

13. その他

研究会の活性化を図るための意見（研究会の根本的あり方・開催日程）

発表演題のレベルの向上が求められる。

十分な Discussion の時間が必要である。

開催日程は、癌学会前日の方が出席しやすい（多数の意見）。

日程を変更するのであれば、臨床腫瘍学会も視野に入れてはどうか。

腫瘍マーカーの臨床試験の企画が欲しい。

根本的に会員の人数を増やす方法を模索すべき。

新規腫瘍マーカーの開発において、研究会がその期待に応えられていない。

研究会での発表にメリットが見いだせない。

癌学会では限られた短い時間しか発表できない。研究会では、時間をかけて徹底的に討論できるというメリットを生かすべく、発表・討論時間を長くとってはどうか。

他の研究会と多角的かつ合同で、共同開催を考えてはどうか。

医学部以外の学部とのつながりを積極的にもつ。

臨床の場に役立てる新しいマーカーの発見が活性化につながる。

以上、これらの新しい提案を将来構想委員会や幹事会で積極的に検討し、研究会の活性化を図ることとて同意が得られた。

以上